

エリス&エイダの鬼の里Diary

Ada's Story

「reason for wanting to speak Japanese」

私は日本、そして、この鬼北町で暮らしていることがとても幸せです。仕事が好きで、同僚の皆さんもとても親切。たくさんの友達もできました。しかし、日本語にはとても苦労しました。

鬼北町に来て2年、少しずつではありますが、私は毎日日本語の勉強をしています。来町当初と比べると、少しは上手になったかな。覚えたての日本語を話すのは不安がありますが、間違えてもいいから、自信を持って話すことが大切だと思っています。私はまだまだ日本語が完璧ではありません。今持っている日本語のポキャブラリー以上のことを相手に伝えたいと思っても、伝えきれないので、もどかしい気持ちになることがあります。また、日本語を知って

いる場合でも、その日本語を分かりやすい言葉に変換することが難しいので、まだまだ勉強しなければなりません。

当然のことながら、日本とアメリカとの違いは言語だけでなく、文化の違いなどさまざまです。来日した外国人はその違いに圧倒されます。私自身も、未だにカルチャーショックを受けることがあります。でも、鬼北町の皆さんが親切に教えてくれたり、手伝ってくれたりするので、とても心強く感じています。そんな皆さんの励ましや優しさが「ここに住みたい」、「もっと日本語が上手になりたい」、「皆さんと会話したい」と思わせてくれます。きっと新しいALTの先生も鬼北が好きになるはずです。



鬼北町外国語指導助手
通称：エイダ

アメリカ合衆国ネバダ州出身
※毎週水曜日、エリスとともに英会話教室を開講しています。

地域おこし協力隊のゆうゆう自適日記

皆さん、こんにちは！
今回は、5月5日に行った「うまれる」の自主上映会の報告をします！



地域おこし協力隊2年目
はやかわ ゆうこ
早川 優子

【映画「うまれる」自主上映会】

5月5日、近永公民館で映画「うまれる」の自主上映会を行いました。その際には、多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、準備から片付けまで大過なく、無事終了することができました。当日は3回上映を行い、合計159名という予想をはるかに超えた多くの方々にご鑑賞していただきました。これも皆様のご支援があつてのことと感謝の気持ちでいっぱいです。

上映会を通し、感動を共有したり、想いを語り合ったりと、さまざまな出会いや、人と人がつながるきっかけや場ができたのではないかと思います。

引き続き、今後ともよろしくお願いたします。



▲上映会の様子



▲マーケットも同時開催